

「第6回日中建築・住宅技術交流会議」参加報告

- 開催日時：2014年10月28日（火）
- 開催場所：オークラガーデンホテル上海（花園飯店上海）
- 主催機関：日本側；（一財）日本建築センター、（一財）ベターリビング
中国側；中国建築設計研究院
- 参加機関：
中側：中国建築設計研究院9名、オブザーバー22名、不動産開発事業者等12名
日側：（一財）日本建築センター5名、（一財）ベターリビング4名、国土交通省1名
日中建協：8社15名と事務局1名、16名
株式会社アール・アイ・エー 4名
株式会社市浦ハウジング&プランニング 3名
河村電器産業株式会社/住友林業株式会社 各1名
日吉華裝飾纖維水泥壁板有限公司/野原産業株式会社 各1名
東陶（中国）有限公司/海驪建築裝飾設計（上海）有限公司 各2名
日中建築住宅産業協議会 1名
- 会議構成：
08：30～09：00 開会式（日中主催者代表挨拶、日中団員・参加者紹介）
09：00～10：00 主催3機関の最近の業務紹介
10：10～12：00 高齢化住宅政策について日中双方の発表
13：00～15：00 工業化・リフォームについて日中双方からの発表
15：10～17：00 日中住宅モデルプロジェクトについて日中双方からの発表
17：00～17：20 総括（日中双方から主催者代表）
17：20～17：30 日中双方会議覚書調印
- 日中住宅モデルプロジェクトの発表について
中国側：「現状、成果、課題についての報告」中国建築標準設計研究院 執行総建築師 劉東衛
日本側：「日中住宅モデルプロジェクトについて」日中建築住宅産業協議会 事務局長 満田將文
「設計会社から見た課題と成果」
～上海緑地集団プロジェクト～（株）市浦ハウジング&プランニング 建築室主任 佐藤介一
～常州新城地産プロジェクト～（株）アール・アイ・エー 顧問 榊原明夫
「施工会社から見た成果と課題」海驪建築裝飾設計（LIXIL）設計技術部長 梅園秀平



第6回日中建築・住宅技術交流会議は、当協議会並びに会員企業の「日中住宅モデルプロジェクトに関する報告」を以て終了し、その後、日中の主催機関のそれぞれの代表から本会議の総括がなされた。さらに、2年後に日本で「第7回日中建築・住宅技術交流会議」が開催されることを決定して全ての議題を終えた。

視察（常州、蘇州、上海） 参加報告

1. 視察日程

10月26日（日） 午後 常州・新城地産「日中住宅モデルプロジェクト」視察

10月27日（月） 午後 上海・緑地集団「日中住宅モデルプロジェクト」視察

2. 新城地産「日中住宅モデルプロジェクト」について

本プロジェクトは、日本側の設計は、(株)アール・アイ・エーが担当し、新城地産が江蘇省の常州で計画している全体の棟数は28棟のうち、2棟について、プランニングの一部変更と内装設計、デザイン設計、インテリア及び工法検証用のモデル棟の設計と施工監修を行った。モデル棟は既に完成している。



3. 緑地集団「日中住宅モデルプロジェクト」について

本プロジェクトは、日本側の設計は、(株)市浦ハウジング & プランニングが担当し、緑地集団が上海の南翔で建設を開始している住宅地のうち、建物3棟の住宅の内装方案、拡初設計、施工図監修、現場指導を行った。内装設計を行った住戸タイプは4タイプ。進捗としては、工法検証用モデルルームが昨年末に完成しており、現在、本体工事の終盤という状況にある。



緑地プロジェクトについては、昨年12月に上海において、緑地崑崙公館の販売促進イベントが行われ、中国不動産協会や日側の設計会社である(株)市浦ハウジング & プランニングからも参加しました。その際に、中国不動産協会から緑地集団「日中住宅モデルプロジェクト」開発物件（緑地崑崙公館）に対して、「中国百年住宅」認定書が贈呈されました。

詳細は、会報誌「日中建協NEWS」No.213号（2015年1・2月号）をご覧ください。